

施策		指標	目標値	R5年度		最近の動向	今後の方向性
A	公共交通軸の強化	柏市内のバス運行本数	3,410本/日維持(平日)	3,326	本	・ 運転士不足等により減便や路線廃止が発生 ・ 利用者数はコロナ前の9割程度まで回復	・ 需要に応じた運行本数を維持できるよう、まずは運行本数減の要因となっている運転士不足等の課題解決に取り組む。
		バス利用者数	約1,577万人/年維持	1,774万	人		
B	企業バス等との連携検討	企業バス等と連携した地域数	企業バス等と連携した事例数：1事例	意向調査を実施		・ 令和5年度に事業者に対してアンケート調査を実施したが、連携の意向は見られなかった	・ 他自治体の事例研究を行い、本市に適した連携方法を検討していく。
C	先進技術の活用	自動運転等の新たな技術導入の進捗	自動運転化レベル：レベル4(特定自動運行)に向けた事業化目途付け	自動運転化 レベル 2 (部分的自動化) (柏の葉エリア)		・ 令和6年は自動運転バス運行の安定性及び円滑性向上を目的とした道路改良の実証実験を実施	・ 自動運転バスの実証実験を継続して行う。 ・ 柏の葉エリアで行われている自動運転バスのノウハウを基に、次世代型の公共交通システムの導入を検討していく。
D	コミュニティ交通の利便性向上	ワニバス、カシワニクル利用者数	コミュニティ交通利用者：50,000人/年への回復（ワニバス市役所ルートを除く。）	ワ: 37,557	人	・ ワニバス(南部ルート)ではコロナ以前と比べ、9割強まで回復 ・ カシワニクルは昨年度と同程度を維持 ・ ワニバス(市役所ルート)を令和5年11月より運行開始	・ 地域の移動需要に応じた利便性の向上を図るとともに、利便性増加に向けた周知施策の実施を継続する。
				カ: 11,410	人		
				計: 48,967	人		
E	公共交通空白不便地域における対応策の検討	公共交通施策検討対象地域に対する施策実施状況	公共交通施策検討対象地域のうち、柏市地域公共交通網形成計画策定時点で未対応だった11地域に対する施策実施状況：5事業(3事業追加) 可住地域内の公共交通空白不便地域解消を目指す。	2事業/5事業		・ 「とねっこタクシー」令和6年より本格運行開始 ・ 「やよいタクシー」実証運行2年目 ・ 「柏ビレジコミュニティバス」令和6年7月より実証運行開始 ・ 令和6年6月にコミュニティ交通導入の手引きを策定	・ 手引きの周知を進めるとともに、必要に応じて町会等への説明を実施する。
F	運転士確保への取組	バス・タクシー運転士合同説明会の開催数	開催数1件/年以上	なし		・ 令和6年10月に合同説明会を開催 ・ バス4社、タクシー7社と連携し、24名が参加	・ 交通事業者と協力し、合同就職説明会等の支援を引き続き検討していく。
G	駅前広場の待合環境整備	駅前広場の待合環境整備（ベンチ・上屋）箇所数	駅前広場の待合環境整備駅数： ベンチ2か所追加（北柏駅、南柏駅） 上屋3か所追加（増尾駅、北柏駅、柏たなか駅） ※市内全駅で上屋、ベンチ等を整備する。	ベンチ 0/2 上屋 1/3		・ 令和5年度に増尾駅西口へ上屋を設置 ・ 令和7年度の柏たなか駅東口上屋設置に向けて、今年度に詳細設計を実施中	・ 駅前広場の整備も考慮しながら、未整備駅の設置を検討していく。
H	ICTを活用した情報案内の実施	ICTを活用した情報案内板の整備数	情報案内板の整備数：5か所（4か所整備済） 情報案内板を新たに1か所整備する	0/1	個	・ 令和4年度に柏駅東口にデジタルサイネージ導入	・ 乗降者数の多い駅から順に整備を検討する。
I	ユニバーサル社会に対応した交通環境の構築	ノンステップバス導入率	ノンステップバス導入率：90%	87.6	%	・ 令和6年度よりUDタクシー導入補助金を開始 ・ シルバーバス制度を実施 →高齢者の運転免許返納を促進する取組として、令和6年7月より実証実験を開始	・ 高齢者をはじめ、誰もが利用しやすい車両の導入を引き続き促進していく。 ・ シルバーバス制度の課題を整理するとともに、今後の展開を視野に入れながら方向性を検討していく。
		ユニバーサルデザインタクシー導入率	ユニバーサルデザインタクシー導入率：30%	31.4	%		
J	タクシー待機車列の解消	柏駅東口交通広場外の客待ちタクシー解消	柏駅東口交通広場外の客待ちタクシー台数の解消 タクシー乗り場のライブ映像を発信することで、交通広場内へのタクシー車両の流入抑制を図る。	－		【コロナ前】 広場外までタクシー待機列が発生し、周辺道路にまで影響あり 【コロナ禍】 タクシー利用者が減少に伴い、混雑が一時的に解消 【コロナ後】 コロナ前の状況に戻りつつある	・ アフターコロナの状況を見極めながら柏駅東口交通広場のあり方も含めて検討していく。
K	公共交通の周知施策	周知施策実施状況	バスマップ配布：2万部	20,000	部	－	・ 利用者目線でのマップ作成を継続して実施していく
			小学校でのモビリティマネジメント教室の実施：6校/年	9	校		・ 年6校を目標にバス事業者と連携し、バス乗り方教室を継続して実施する。